



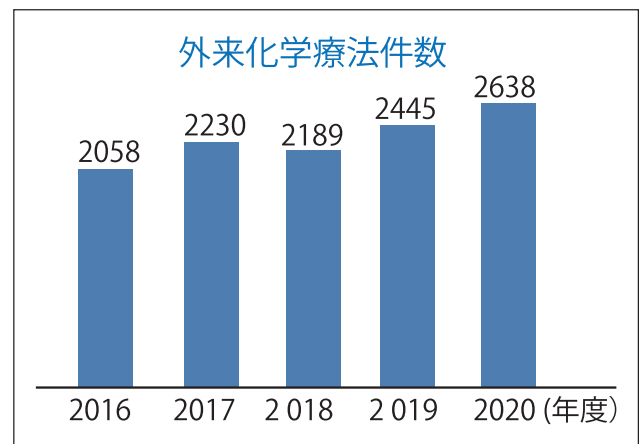
外来化学療法室のご紹介



副看護師長
がん化学療法看護認定看護師 石川 恵美子

当外来化学療法室ではがんに対する抗がん剤などの薬物療法や、潰瘍性大腸炎などの免疫性疾患に対する点滴治療を行っています。外来でがん治療を行うと聞いて、驚かれるかもしれませんが、薬剤や医療の進歩により外来で安全に治療を受けられるようになりました。吐き気などの副作用症状を軽減する治療も進歩したため、多くの患者さんが家庭生活や社会生活を送りながら治療を続けられています。

過去5年間の外来化学療法件数をグラフにまとめました。治療の場が入院から外来へ移行しており、治療件数が増加傾向にあります。



外来化学療法室にはベッドが1床、リクライニングチェアが10床あり、乳腺外科、消化管内科、肝胆膵内科、外科、呼吸器内科、泌尿器科、皮膚科の患者さんが治療を受けています。当院では乳腺外科の件数が最も多く、年間1,000件を超えています。

病気によって治療にかかる時間や期間、目的は様々ですが、患者さんが安全・安心・安楽に治療を受けることができるよう努めています。

2020年度の診療科別件数

乳腺外科	1,041件
消化管・肝胆膵内科	567件
外科	507件
呼吸器内科	303件
泌尿器科	218件
皮膚科	2件
計	2,638件

スタッフ紹介

専門的知識と技術をもった看護師3名(がん化学療法看護認定看護師1名)と、薬剤師3名(外来がん治療認定薬剤師2名)が常駐しています。診療科の医師と患者さんの体調や副作用の程度について連絡を取り合い、治療のサポートをしています。

また、がん専門看護師や認定看護師、ソーシャルワーカーと連携し、普段の生活と治療のバランスがうまくとれるよう調整する役割も担っています。



「がん化学療法看護認定看護師」とは？

認定看護師とは、看護師免許取得後に認定看護分野での実務経験を積み、認定看護師教育を修め、日本看護協会の認定審査に合格することで取得できる資格です。全国では1,691名が「がん化学療法看護認定看護師」として登録されています。(2020年12月現在)

がん化学療法看護認定看護師の役割

- ・患者さんが安心して治療を受けられるように指示通りの治療を安全に確実にすること
- ・副作用やアレルギーが出たときに速やかな対応を行うこと
- ・治療を受けながらもその人らしく過ごせるようにお手伝いすること

「外来がん治療認定薬剤師」とは？

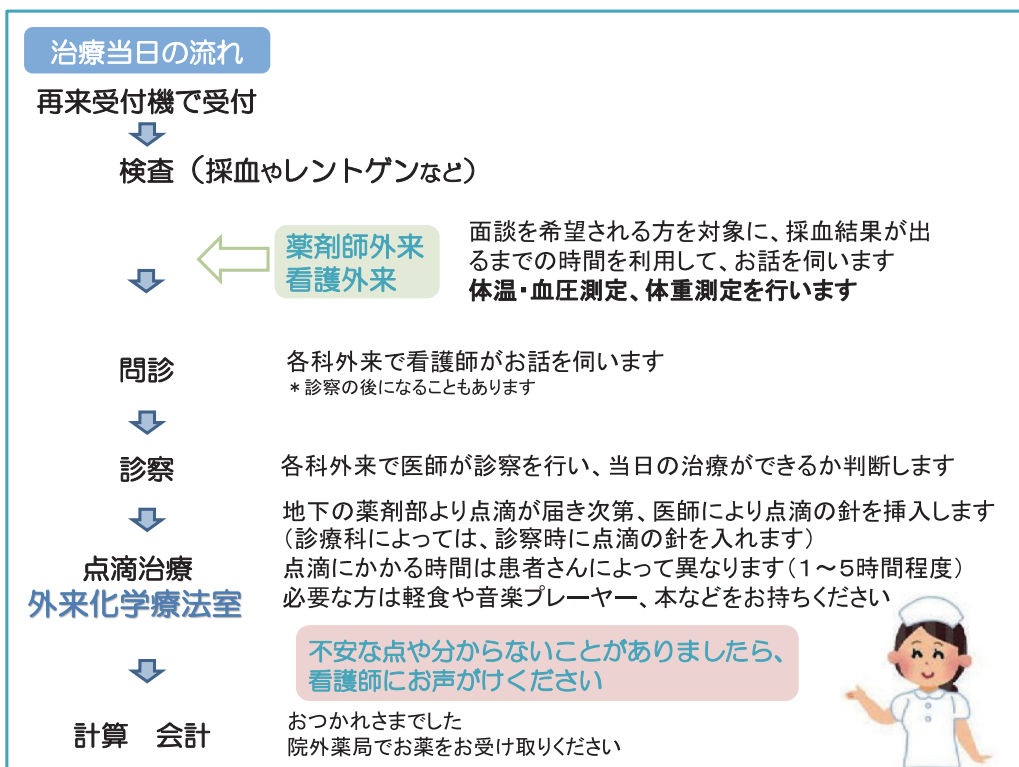
外来によるがん治療を安全に実施するための知識と技術を有する専門資格です。

日本臨床腫瘍薬学会の認定資格で、試験に合格することで取得できる資格です。全国では935名が「外来がん治療認定薬剤師」として登録されています。(2020年4月現在)

外来がん治療認定薬剤師の役割

- ・治療内容についての説明を行い、副作用予防のための方法を伝えること
- ・薬剤による副作用の程度の確認と、副作用に対する薬剤の提案を医師に行うこと
- ・面談で把握した患者さんの情報を医師や看護師、ソーシャルワーカーやかかりつけ薬局などと共有し、患者さんの抱える問題を解決できるようサポートすること

(参考)



最後までお読みいただきありがとうございました。

外来化学療法は患者さんが生活する場を変えることなく、治療を行えるというメリットがあります。日常生活と治療を両立させ、仕事や学業、趣味や大切な方との時間を大切にしながら外来治療が継続できるようサポートしていきたいと思っております。何かご質問などありましたらお気軽にお声がけください。